



港区立中之町幼稚園 2月 園だより

教
育
目
標

- ・げんきな子
- ・かんがえる子
- ・なかよくする子
- ・がんばる子



令和6年1月30日
港区立中之町幼稚園
園長 大橋 美都子

「氷が張ってるよ！」

園長 大橋 美都子

「みんなあ！今日、氷張ってるよお！」という誰かの一声で、池の周りにたくさんのお友達が集まってきました。3学期になってから、8回ほど池が凍り、手を真っ赤にしながらも冬ならではの自然現象を楽しんでいます。

初めは、手を伸ばして池から氷を取り上げ、触ったり割ったりするだけでしたが、やがて年長児が様々なことを考え始めました。カップやバケツ、砂場の型抜きなどで氷を作ろうと試す、日や雨が当たらないよう段ボールで覆う、2階のテラスでも凍るか試す、グレーチングに乗せるとしま模様ができることに気付く、色水や京花紙を入れた水でも凍るか試す…等々、お互いに思い付いたことを伝え合い、「実験」と称し様々なことを試すようになりました。受動的ではなく、自ら関わって疑問や問題を発見し、考えたり、試したり、工夫したりしている姿は立派な「学び」です。例えば今後、学校で「水は 0℃で凍り始める」と教わったとき、子どもたちは幼稚園の池の氷で遊んだ冷たさ、感触、試したことなどを思い出すことでしょう。直接的な体験が原体験となり、学んだことと結びついて知識がより定着していくのです。直接的な体験がとても大切、と言われている所以です。

年長組では、会話の中で小学校入学に向けた話題が出てくるようになってきました。先日、1年生の担任の先生に「1年生の初期、どんなことができていないと困りますか？」とかがったところ、主には「挨拶ができるように(大人数の中でも聞こえるくらい)」「登下校の道順が分かるように(登校はスムーズでも下校で逆方向になると分からなくなる子がいる)」「困ったことや困ったときに言えるように(休憩時間だけでなく授業中でも)」が挙げられる、と教えていただきました。園でも姿勢を正して座ることや、みんなの前で発表することなど、就学に向けて意識を向けさせているところです。ご家庭でもぜひ一緒に、お子さんが大きな声で挨拶できるか、自宅の位置が分かっているか、困ったときに援助希求行動がとれているか、など確認してみてください。

各学級、生活発表会に向けた活動に取り組み、劇ごっこを楽しんだり、大道具や小道具を作ったりしています。一人ひとりがのびのびと自分を表現している姿をご覧いただくと幸いです。



獅子舞を見た翌日。
宇宙組の手作り獅子による獅子舞が大人気。



様々な種類の氷ができました。
バケツには2cmくらいの厚さの氷ができました。

